

Photo ふなばし

六都県市合同 船橋市で初めての

とくしゅう
PART1

日本一大きな防災訓練

- 市政トピックス ● 街角ホットニュース
- 私のカメラアイ ● WE ARE IN FUNABASHI
- サークル通信 高根台軟式テニスクラブ / 小室公民館囲碁クラブ

まちなかの文化財 / ワンパク王国だより
ふなばしの民話 / ビデオ講座

とくしゅうPART2

ふなばし
あちこち

坂道のある風景



中野木町



芝山 5



新高根 5



滝台 2

松が丘



vol.27

広報ふなばし写真版

SEPTEMBER

隔月年6回発行

9月

六都県市合同 船橋市初の

日本一大きな防災訓練



地震の発生により、住宅密集地から出火。消防隊は直ちに消火を開始した。



市内高瀬町に63機関、16,000人を集めて行われた6都県市合同防災訓練。写真は救出・救助・救急訓練で、建物に取り残されたケガ人を救出する救急隊員。



レスキュー隊による高層ビルからの救出訓練。参加者も思わず緊張。



防災頭巾をかぶって避難する子どもたち。



当日は153団体の自主防災組織が参加した。



ヘリコプターによる救出訓練。



煙の恐ろしさを体験。煙中避難訓練。



マグニチュード7.9を想定して爆破された家屋。これを合図に訓練は始まった。



レスキュー隊による車両からの救出活動。運転中に地震が起きたときの心構えも知ってほしいものだ。



避難訓練を行う可成り、自治会の若さん。

「グラブグラブ!!」突然大地が大きく揺れだし、家が激しくきしむ。ようやく外へ出てみると各地で火の手が上がり、地面には不気味な地割れが…。いつ起こるか分からないこわい恐怖。いことがもし現実となったら…。

9月1日の防災の日、高瀬町を中央会場に行われた「第9回六都県市合同防災訓練」では、こうした大きな地震が首都圏で発生したことを想定して様々な訓練が行われました。想定されたのは、相模トラフ上を震源域とするマグニチュード7.9の大地震。震度でいうと6というこの地震による被害は、家屋の倒壊、道路の損壊、水道・電気・電話・ガス等生活関連施設の損壊などが考えられるほか、東京湾には津波の来襲が予想されるなど、相当大きな被害が予想されます。

訓練では、まず、大橋和夫船橋市長を本部長とする現地災害対策本部が設置され、早速、情報収集、広報活動が開始されました。次に住民の避難訓練、自動車に閉じ込められたケガ人の救出。水道、ガス、電気などの復旧作業。高層ビルの屋上に残された人々の救出などが次々と繰り広げられました。これと同時に、船橋港でも、船による避難訓練、ヘリコプターによる救助訓練が本番さながらに行われました。

この訓練には160の町会・自治会、153の自主防災組織、小・中・高校生など大勢の市民が参加し、自衛隊などの関係団体と合せると参加総数は約1万6000人にも達しました。また、竹下内閣総理大臣をはじめ、建設・自治両大臣などが視察に訪れるなど、まさに日本一大きな訓練となりました。

大地震は、いつ、どこで起こるか分かりません。私たちは、その日がいつ来ても冷静に対処できるように心構えを持つことが必要なのではないでしょうか。



石油タンクを化学消火剤で消火。



デパート・病院・工場など6事業所の自衛消防隊が参加。日ごろの訓練の成果を披露した。



知っておくと便利。三角巾の使い方を救急隊員に教わる参加者の皆さん。



自衛隊の炊事車。一度に300人分のごはんを炊くことができる。



京葉ガスによるガス管の復旧作業。



高所作業車を使い応急復旧作業を行う東京電力。



いざというときに備え、消火器の使い方を一度は経験しておきたいものです。



機動力を生かし情報収集・広報活動を行う県警本部白バイ隊。



開催市として市民の皆さんと関係団体にお礼の言葉を述べる大橋和夫市長。



船橋港では船舶火災消火訓練も実践しながら行われた。



交通を遮断された現場にパトカーを空輸する県警本部航空隊。



伝染病の発生を防ぐため、避難所を中心に消毒・防疫活動を行う防疫班。



災害時には飲料水の確保が重要だ。水道局を中心に給水活動が行われた。



訓練視察に訪れた竹下総理大臣を出迎える現地対策本部長の大橋和夫市長(右)。



破壊放水車「きつつき号」は船橋市消防局が独自に開発した消防車だ。

ふなばし
あちこち

坂道のある風景

大神宮脇の宮坂はその昔江戸から成田詣でに向う旅人が初めて登る坂道だった。

新高根5丁目



市内の新興住宅地は起伏に富んだ地形のところが多い。この新高根にも沢山の坂道や階段があって独特な変化のある風景を見せている。



新高根6丁目



芝山団地付近の住宅地。自然の緑が面白い。(芝山5丁目)

この坂道を登ると夏見公民館、八栄小学校などがある。かなりきつい坂道で、しかもS字形に曲がっている。



夏見は古くからの農家が多い。この坂道も農家の家並の間を縫うように続いている。



「八蔵の坂」と呼ばれる右側の坂道を登ると観行院がある。(高根町)

県立船橋西高線の市道旭・上山線は昨年拡幅工事が完了。同じく昨年新設された2030号線にジョイントされた。



船橋・我孫子線の高根町付近。



坪井町も段差の激しい地形の場所が多い。コンクリートのガケ縁に面白い階段があった。



一日中沢山の車で込み合う県道船橋・我孫子線。現在の解消をはかるため、花輪インターチェンジの改修工事が急ピッチで進められている。

この辺は坂道が多いでしょ。だからお客さんがくるとまず「アー疲れたー」なんてね(笑)。でも坂道のところって意外と静かなんですよ。ピアノなどの音も近所よりも、はるか遠くの方から聞こえてきたり。私たちが引越してきたのはまだ芝山団地の造成中の頃でね。夕方なんか坂の向こうに真黒な造成地が見えて、何だかとても不気味な感じがしましたね。その傾斜になったあき地には大きな木が沢山あって、子どもたちがよく木登りして遊んでました。それも坂道の所に住んでいると自分の体力の変化がよくわかりますね。来た当時は自転車でも何とか登れた道も、今ではとつても...。(笑)

ここは芝山団地付近の新興住宅地内にあるKさん宅。見とおしの良い窓からは、起伏の多い住宅地内の家々が積み重なるように見えていて、その間に見え隠れするように斜面の道がつながって下りている。この芝山をはじめ新高根、松が丘、飯山溝、八木が谷など船橋の街にはいたるところに坂道がある。今回はこの市内の坂道をいろいろ歩いてみることにした。

船橋の坂道という古くは大神宮の「宮坂」が有名である。江戸時代の人々が成田山参詣に行く時、初めて登る坂道だったそうである。船橋地方は台地に浸食谷が樹枝状に入り込む地形の場所が多く、それらの多くは「やつ田」と呼ばれた水田であった。そして江戸時代からある村落の多くは、このやつ田沿いの台地上にあったため、下の水田へ降りる坂道が至るところにできたのだそう。

こうした古くからの坂道にも増して、新しくできた坂道が船橋には非常に多い。船橋は全国でも有数の人口急増都市だが、その要因は何といっても、相次ぐ団地の建設と、その周辺の住宅開発である。昭和40年代以降はやつ田跡に造成された、いわゆる新興住宅地の開発が目ざましく進められ、そして新しい坂道や階段が何百というほどでき上がっている。

古い坂道、新しい坂道...。こんな船橋の探訪いかがでしょう。



市内最北端純農村地域の小室町。小室ニュータウンができて街の様子も大分変わってきたが、まだまだ風情のある小道を歩くことができる。



夕暮れ時の坂道を行く。ここを下ると駒込川があって、その向う側が松が丘、手前が坪井町となっている。この4~5年でこの辺も新しい家がぐんと増えた。



三山2丁目、三田公民館付近から東方を見る。小高い丘の上の住宅地と千葉テレビの塔が印象的。付近に特別養護老人ホーム三山園がある。



大きな樹木が繁り雰囲気のある西園書館前の坂道。(西船4)



東武野田線塚田駅に近いこの付近は坂がきつ、見通しも悪いため、拡幅整備工事を進めている。(旭町)



成田街道前原方面から来てこの道を下ると、田喜野井、三山方面が近いおなじみの坂道。(前原東6丁目)



飯山満町2丁目と3丁目を分ける芝山東小学校裏の小道。



金堀町も風景のよい坂道が多い。最近ではワンパク王国へ行く人も多く通るようになった。



京成東中山駅から国道14号に下りる坂道(西船5丁目)



通称「医者ドン坂」。今ではほとんど人は通らないという。(飯山満町2丁目)



洗い看板がとてもいい。



県道松戸・原木線と国道14号との交差点付近。中山競馬開催日には渋滞がひどい。(西船5)



獅子舞(右の写真)を見に八幡神社へやってきた人々。

日本人はお祭り好きだ。というより、日本人にかぎらず人類というか、人間というか、お祭りが好きのようである。リオのカーニバルなんていったら、娘さん達なんかその日のために、一年間、一生懸命働くんだったからびっくりする。

船橋の祭を考えると、ワッショイワッショイ神輿(みこし)を街中に繰り出し、何万何十万と人を集める町会の夏祭を含む、新しい市民祭(産業祭)や、三山(みやま)の七年祭のようなお祭などがある一方で、小室(こむろ)の農家の長男達が毎年八月二十一日の「地元の本堂寺、八幡神社に奉納する獅子舞を中心とした、ピーヒョロ、ドロく」といって、小さくも懐かしい村祭まで残されている。こうした獅子舞は、昔は大神保、金堀、坪井などの集落にも伝承されていたそうだが、近年廃れてしまった。

小室の獅子舞(県指定文化財)は村の長老の吹く笛と太鼓のせて雄獅子、雌獅子が中獅子を牽い合うような形で演じられる。歌う文句に耳を澄ませば、八庭の砂子を踏み歌うてノ寺へ詣るも後の世のためにと、どこか哀調を帯びた「七五七七調」だった。

(文責・大木 勉)

新しい文化財

②5 小室の獅子舞

(小室町・県指定文化財)



藤原町3丁目の「萩の坂」。雲田気のある距離の長い坂道が続く。



東武野田線馬込駅付近のガード道。車の流れも良くなった。



八木が谷も昭和40年以降に人口が増加した新興住宅地。網の目のように何本もの道が走っていて坂道も多い。

市政トピックス



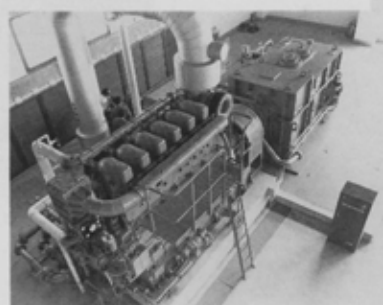
インターハイでV2を果たした市船サッカー部の皆さん。

船橋市文化・スポーツ振興基金 市船サッカー部など 団体7・個人で17人を表彰

9月3日、船橋市消防局5階大講堂で、インターハイでV2を果たした市立船橋高サッカー部など団体7、個人17人が、船橋市文化・スポーツ振興基金（会長・大橋和夫市長）の表彰を受けました。同基金は、市内小・中・高・養護学校生の文化・スポーツ活動の振興を目的に設立されたもので、県・関東・全国大会で優秀な成績を収めた個人・団体を対象としています。



一人ひとりに「よくガンバッタネ」と声をかける大橋市長。



毎秒20トンの排水能力をもつポンプ。



竣工式でポンプの移動スイッチのボタンを押す大橋和夫市長（右）と野村修司千葉県土木部長。

海老川排水機場 第一期工事が完成

8月22日、海老川排水機場の第一期工事が完成、竣工式が行われました。同排水機場は、海老川における二か所目の排水機場として工事を進めていたものです。大橋和夫市長と野村修司千葉県土木部長がスイッチを押すと、毎秒20トンの排水能力を持つ排水ポンプが力強く稼働を始まりました。昭和65年までには、さらにもう一台設置され、海老川の治水防止に大きな役割を果たすことになります。



今年も力作がずらりとそろった。

第26回市美術展開催 市民の力作540点が勢ぞろい

市民の美術展として親しまれている「市展」が、8月25日から30日まで船橋東武百貨店で開催されました。出品作品は、日本画、洋画、彫塑、工芸、書の5部門に540点。それぞれ力作ぞろいで、会場に訪れた人たちの目を楽しませていました。なお、同展で美術連盟賞などに入選された皆さんの授賞式が、28日船橋グランドホテルで行われ、受賞された皆さんは改めて喜びをかみしめていました。



年々盛んになる市展。書の部だけでも170点以上の出品があった。

お年寄りの健康と長寿を祝い 各地で敬老会行事

9月15日の敬老の日に、市内237会場で敬老会が行われ、お年寄りの長寿と健康を祝福しました。現在市内にお住まいの65歳以上のお年寄りは、3万4124人。市では、65歳以上の方全員に敬老記念品を、さらに77歳の人に喜寿の記念品、88歳の人に米寿の記念品、88歳以上99歳以下の人には高齢者記念品、100歳以上の人には特別記念品を、それぞれ贈呈しています。市内最高齢は、山崎きよさん（三山）で105歳。市では、高齢化社会を迎え、多様化する老人問題に対処するため、きめ細やかな老人福祉行政を進めています。



市内最高齢の山崎きよさん（105歳）に記念品を渡す大橋和夫市長。「昨年よりお元気ですね。」という言葉に山崎さんもニコリとうなずいていました。（特別養護老人ホーム三山園）



雨にもかかわらず葛飾中学校に集まった皆さん。二部の演芸会では民謡など楽しい催しが行われた。



特別養護老人ホームワールドナースィングホームを訪れた大橋和夫市長。



心づくしの敬老会に、参加した皆さんも楽しいひとときを過ごしました。（宮本自治会館）

JR船橋駅北口地下駐車場 建設工事始まる

JR船橋駅北口地下駐車場建設工事の起工式が、9月22日大橋和夫市長はじめ関係者約90人が出席し行われました。この工事は500台収容の地下駐車場を作り、JR船橋駅周辺の交通渋滞の解消をはかり、しかも地上には、県内で初めてのペDESTリアンデッキ（歩行者用の通路）を建設して、機能的で美しくかつ「活力ある近代的都市・船橋」の表玄関にふさわしい景観を持った駅前広場を完成させるものです。



JR船橋駅北口完成予想図。工事が完成すると北口広場は、地下2階、1階、地上面、デッキ上と4層構造に生まれ変わります



工事の安全を祈る大橋和夫市長と工事関係者。



おねえさんの読む童話にじっと耳を傾ける子どもたち。こわい場面では肩をすぼめ、楽しい場面では笑みがこぼれる。現在、市内の図書館では「本とおはなしの会」を行っています。本を読むのは、図書館の職員とボランティアの皆さん。自分で読んだときと違う感動や発見があり、毎回聞きにくる子どももいます。一度、お近くの図書館へ行ってみたいかがですか。

さあ始まり、始まり。今日はどんなお話かな。（西図書館）

楽しい童話を 聞きにおいでよ 『本とおはなしの会』

館名	日	時
西図書館 ☎ 4385	●毎週水曜日の午後3時30分～ ※第3水曜日は小学3～5年生対象 ●毎月第2・4日曜日の午後2時～	
東図書館 ☎ 3611	●毎週水曜日の午後3時30分～ ※第3水曜日は小学3～5年生対象	
中央図書館 ☎ 1444	●毎月第1・3水曜日の午後3時30分～	

※詳しくは、各図書館へお問い合わせください。

図書館だより

小学校のとき名古屋から移り住んで以来ずっと船橋で暮らしています。うちは駅に近く、商店街もにぎやかです。とても便利なところですね。子どもが生後10か月と小さいので、病院が近いのは本当に助かります。



齊藤 妙子さん
長男 将太くん
(二和東5)

東葉高速鉄道など、鉄道路線の発展が楽しみです。船橋の海岸線は早くから工場などが進出していたせいか、遊びの要素が少なそうですね。海岸線を持つメットを生かして、水辺に親しめる楽しいまちになるといいな。

佐藤 滋さん
(新高根1)



ふたりは小学2年生。クラスが違っても仲良しです。勉強も楽しいし、公園で遊ぶのも大好きです。きのうは台風が来たので、どんぐりがたくさんとれました。でも、どうやって遊ぶのかは分かりません。



横倉利恵ちゃん(左)と
亀井亜紀子ちゃん
(小室町)

ちよっとお話を
伺ってみました

街角ホットニュース

手づくりのまつりは最高!! ——西高根町の夏まつり——



西高根町の夏まつりが、8月6日、7日の両日行われ、このまつりを待ちに待っていた子どもたちなどにぎわいました。今年で25回目を迎えたこのまつりの特徴は、運営はもとより、焼ソバや綿アメなどの屋台もすべて町会の皆さんの手で行われるということ。また、今年、同町会が福祉モデル地区になったことから、初めてチャリティバザールが行われ、約21万円の売り上げがありました。このお金は、早速、社会福祉協議会に渡されました。

親子で店番。手づくりまつりは楽しいナ。



子どもたちの元気な踊りがまつりの主役。

小栗原小学校合奏クラブ サントリーホールで初演奏

8月30日、サントリーホールで行われた「ジュニア・オーケストラコンサート」に、市立小栗原小学校合奏クラブが出演。素晴らしい演奏で聴衆を魅了しました。同コンサートは、昨年度の「こども音楽コンクール」で最優秀賞となった学校が出演することになっており、中学校の部で最優秀賞となった、市川市立第六中も出演、音楽県千葉を強く印象づけました。

海外帰国子女 スピーチコンテスト

市長賞には石井真司さん (葛飾中3年)

9月4日、総合教育センターで「第4回海外帰国子女スピーチコンテスト」が行われました。当日は、小・中・高校生33人と帰国子女の父母2人が参加。海外生活で得た貴重な体験や帰国後の経験などをもとに意見や感想を発表しました。



一人ひとりのスピーチに大きな拍手が贈られた。

完走したときの感動は 何とも言えませんね

高村公子さん

10月22日、ハワイで開催される、1988年アイアンマン トライアスロン ワールドチャンピオンシップに出場。漢可1丁目在住。

「楽しく体を動かせれば最高ですね。」と笑顔がまぶしい高村さん。10月22日にハワイで行われるトライアスロン世界大会に向けて現在、猛練習中。スポーツが好きで、ママさんバレーはもう10年続けています。昭和59年、個人競技もやってみたく、ジョギングを始めました。「フルマラソンも何とかこなせたので、トライアスロンに挑戦しようと思ったんです。」それから練習メニューに、水泳と自転車が仲間入り。「家庭が一番ですから、家事をやりながら、練習時間を作るといった方がいいですね、主人と子どもたちの協力がなければできませんね。」と高村さん。お孫さんがいらっしやるとは見えないうわいお母さんです。



高村さんが、ハワイ大会の出場権を得た、びわ湖大会。女子・50歳以上で見事2位となった。

モギたての梨は おいしいナ 心身障害者やお年寄りが梨狩りに挑戦

9月18日(日)、心身障害者の皆さんや豊寿園のお年寄りなど約370人を招待して「梨狩り」が行われました。これは、船橋建和工業会が毎年行っているもので、今年で21回目。おいしい梨の見分け方やモギ方などを教えてもらったあと梨狩りに挑戦。モギたての梨を食べたり、福引きなどで秋の一日を楽しみました。



子どもからお年寄りまでみんなで楽しく1日を過ごしました。

手作りみこしに子どもも大人も大喜び



手作りみこしの夏まつり

(写真・文 新谷千代子さん・大穴北3)

8月20日、21日の両日、大穴町ゆりヶ丘自治会の夏祭りが行われました。この祭りの主役は、「はく製の鷹を乗せた手作りみこし」です。これは、自治会発足20周年を迎え、これからの町の「親睦」と子どもたちの「ふるさと作り」のシンボルとして、有志が資材を持ち寄り約半年かけて製作したものです。



あこがれのサントリーホール。緊張しながらも元気いっぱい演奏だった。

私のカメラアイ

日本の城を撮る

(写真と文) 三浦 田賀男 (前原東6)

私は、少年時代から城に興味を持っていました。たまたま仕事の関係で日本各地に行くことも多く、城や城跡を見る機会に恵まれたこともあり、城や城址を写真で記録することを私のテーマとして、今日まで撮り続けてきました。城にはロマンと夢があります。白亜の天守を仰ぎ見るとき、武将たちの栄枯盛衰を思い、城址の石段を登山頂にたどるたびに、つ

わもの共の夢のあとを偲び、石垣にまつわる人柱の悲しい伝説を思う。こうした思いにふけるととき一番幸せを感じます。「国破れて山河あり、城春にして草木深し」という詩情は、こうした古城址に立ち初めて味わえるものです。これからも、先祖が残した貴重な文化遺産である城をレンズを通して見つめていきたいと思っています。(船橋市写真連盟会員)



松本城 (長野県松本市)



菟城 (山口県萩市)

らなばーの民話

日蓮聖人が贈った法華堂

(文・村上昭三)



かつて法華堂があったといわれる船岡田公園



法華堂 (中山法華経寺)

むかし、むかし、日蓮様は新しく日蓮宗を興し、盛んに布教活動を行っていらっしゃった。特に、時の政治の中心地である鎌倉と生ませ故郷の房総の間を、頻りに往來していらっしゃった。船橋の近くで、日蓮宗の熱心な信者に、富木風継とよこした。かたがて、むかし、むかし、日蓮様は、中山に城を持った有力な武士でありました。日蓮様と風継は、お互いに大変信頼し合っていました。風継は、晩年になってから、仏門に入る決心をいたしました。そして、城のある土地にお寺を建てることになりました。しかし、なかなか良い材木が見当りませんでした。暫らくの間、あれこれとアイデアを凝らして、そこそこ、日蓮様がやって来た。日蓮様は、ここから下ろした材木は、そこから付近にいた多くの信者の力を借り、陸路を中山まで運びました。そこで、日蓮様は、風継に「これ、この通り約束した材木を持って来た。これだけ望みのお寺を建ててくれるがよい」といいました。風継は、日蓮様の手を固く握りしめ、深く感謝をいたしました。そして、早速に大勢の力を頼み、広い城域の中に、幾つもの立派な堂宇を建立しました。こうして出来上がったのが、中山の法華経寺の境内に今も残る法華堂です。また、現在の西船五丁目(か)の一角に近々まで勝間田池(か)のいかだといいて、早々に本郷ノ溜(ほんこうのため)から船に乗り、鎌倉に向かって行く

サークル通信

高根台軟式テニスクラブ

池田卓嗣 ☎620588

昭和38年、高根台団地の完成とともに創立し、昨年25周年を迎えました。「ウチの女子は強いので女子と思わずに練習しています(笑)。ジュニアを育てるためのコートと時間ももっと欲しいですね。」と、会長の池田さん。現在会員数は110名。インカレ・千葉県大会・全国大会・国体と、上位賞者を出し続けるこのクラブ。まさに名門クラブです。顧問の相沢力さんも今年80歳の現役。年齢・性別に関係なく誰でも楽しめるのが軟式テニスの魅力です。



軟式テニスの魅力にとりつかれた皆さん。元旦でさえも朝から練習するという。



ボレーの練習。軟式テニスの打球は、硬式テニスと比べるとネットを越えるまでのスピードが速い。前衛は鋭い神経が要求される。



物事も碁も高いところから眺めるとよく分るそうです。



部員のほとんどは職場でも昼休みに碁を打つ。まさに底なしのおもしろさだ。

小室公民館碁暮クラブ

今澤清次 ☎570089

ここは小室公民館第二集会所。碁石を打つ音が、静かな部屋にこだまします。今日はクラブ内リーグ戦の真最中。皆さん、真剣なまなざしで碁盤をにらんでいます。現在、会員数は20名。毎週日曜日の午後1時から、なんと夜の7時まで練習しています。この成果を発揮して、昨年は市長杯争奪碁基大会で、見事準優勝。「やればやるほど奥の深くなるところが面白い」と幹事の福地さん。脳の老化も防ぐという碁基あなたも始めてみませんか。

ワンパク王国だより

平和都市宣言記念シンボル像「平和を呼ぶ」完成記念

岡本太郎・野外彫刻展

- 期間 10月15日(土)⇨11月6日(日)
- 除幕式は10月15日(土)
- 会場 ワンパク王国内(園路・芝生広場)

船橋市は、昭和61年12月に平和都市を宣言しました。これを記念して、岡本太郎氏にシンボル像の制作を依頼していましたがこのほど完成。ワンパク王国の入り口に設置されます。これを記念して、岡本氏の作品45点を一堂に集め、野外彫刻展を開催します。

問合せ ☎04746627

ビデオ講座

③ 結婚式を撮る

①前日の準備 人生の大切な記録であり、いつか編集装置を購入することを考え、質の高いテープを余分に用意しておく。バッテリーはもう一度十分に充電しておく。車で行くなら充電器も持って行くこと。
②当日 撮影作業は熱くなるので、服装は失礼にならない程度の薄着がいい。撮影に先立って、テープの最初10秒間ほどに日印を入れる。式場に備えられたホテルの全景や看板を撮る。受付の人や、お手伝いの方もワンカット。色紙、花束、会場の飾りなども撮っておこう。控室で緊張している表情もおもしろい。受付で、列席される方々に一言ずつお祝いの言葉をもらおうのも楽しい。式が始まったら、雰囲気はなるべくおどろかさないように、しかし大胆に動き回ろう。人物はなるべく寄って撮ることを忘れず。祝辞やケーキカットなど、被写体があまり動かずにワンカットが長くなることを予想される場合は、必ず三脚を使う。その場の雰囲気や撮るべき表情を撮るのにははつきり決めて、アップやワイドを使い分ける。



式場のライトをうまく利用しましょう。

(協力・視聴覚センター)



ナチュラルな素材が

好きです

天野志津江さん(夏見2)

マイ・ファッション

生成のブラウスと明るい色のスカートで秋っぽく決まった天野さんは、全日空のスタッフさん。お気に入りブランドには興味がありません。買うときも、流行の最先端のものより、長く着られるようなベーシックな物を選びたい。材質や縫い方などにも凝ってしまいます。好きなタイプは木綿や麻、絹など、ナチュラルな素材がいいですね。お気に入りには香港で買った夏物のワンピース。まだ一回も着ないうちに夏が終わってしまったそうです。

ART



大川さんが本格的に紅型染を始めたのは8年前。公民館の紅型染教室でした。「ちよと子どもが独立して、何かをやってみたくて思っていたときでした。それから数年間は夢中で染めましたね。」昭和69年と71年には、市美術展で入賞するなど、その作品は高い評価を受けています。

大川さんは、墨のいろが大好きで、作品には必ず墨を使っています。それが独特な風合を醸し出し、魅力となっています。飾る作品ではなく、自分で着たいものを作るといふ大川さん。作品は、その人柄を表わすように、控え目の色使いの中にもキラリと光る何かを感じさせてくれます。

自分で着たいものを
自分で作る楽しさが
いいですね

大川 淑さん(芝山5)

WE ARE IN FUJABAND

伝統



JR船橋駅から南へ走る駅前通り。その東側に並行して本町通りに続く道がある。通称山口横丁。その一角に鈴木洋服店はある。「ここは、昭和25年から

きちんと仕立てられた背広の良さを知ってもらいたいですね

鈴木 富士雄さん(本町4)

です。おやじが洋服店を始めたのは大正3年。店は、本町通りにありました。「長男だった鈴木さんは、自然にこの道に。「まあ好きだったんです」と一言。「良い仕事は、採寸で決まります。お客様をリラックスさせて、その自然な体形を理解しないとダメなんです。ですから、帰るお客様の後姿は必ず観察します。」こうして丹念に仕立てられる鈴木さんの背広。親子三代に渡るお得意様もいらつしやるのが、既製の充実した、やや押し気味の注文服ですが、「きちんと仕立てられた背広の良さは無くなりません」と鈴木さん。服地に向かうその姿が印象的でした。

常に新しいことに

チャレンジしたいですね

ディーター・ペトウケさん(行田2)



「近くに行田公園もあるし、住みやすいですね。ただ、自動車や物売りの音がうるさいのが難点ですが」とこやかに話すペトウケさん。奥さんの実家が市内にあることから結婚と同時に船橋に。今年で5年になる。ペトウケさんは、現在、公民館や自宅などで英語やドイツ語を教えています。「勉強は楽しくがモ

ットし。だから、冗談も言ったりしますよ。」とニコリ。趣味は、読書や切手収集から旅行、自転車と幅広い。最近、スキューバダイビングが仲間入り。この夏、フィリピンで海中散歩を楽しんできたとのこと。将来の夢は、西ドイツでペンションを経営すること。その時は、日本人の旅行者大歓迎だそうです。

あしがき



旭町

■千原真一(一帯)にその名が知られないが、船橋市内にはかく起伏に富んだ地形のところが、多い。そしてその起伏の合間には、実に沢山の家が巧みに建てられていて、多くの人々の生活が感じられる。そんな感じを表わせたこの企画だったのですが、いかがでしたでしょうか。これから秋の明会自治会の行事がいろいろあります。ご一緒に楽しみましょう。ご一緒されれば幸いです。(協)



9月18日に行われた御滝中学校運動会。

おめでとう、世界一！

スポーツで健康ふなばしっくんいちほ



市立船橋高校出身の鈴木大地選手は、第24回夏季オリンピック・ソウル大会8日目、競泳の男子100メートル背泳ぎで、55秒05の日本新記録で見事優勝、今大会初の金メダルを日本にもたらしました。また、体操男子日本代表の佐藤寿治選手(市船出身・日大2年)は、堅実な演技で団体銅メダル獲得の原動力となりました。(写真・共同通信社提供)